

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 瀧澤 博		
健福-25	実施事業	老人福祉センター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	高齢者（本市に住所を有する60歳以上の者）
意図	健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。
効果	外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び腰越なごやかセンターの管理運営業務を指定管理者に委託した。 ・各センターの施設修繕を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	30年度	01年度	02年度	備考			
人口等のデータ	人口	176,308	176,436人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	208,063	266,478	当初予算(千円)	214,387		
	国県支出金	1,764		国県支出金			
	地方債		38,200	地方債			
	その他	18	18	その他	18		
	一般財源	206,281	228,260	一般財源	214,369		
事業経費運営	人員配置数	0.9	0.9	人員配置数	0.9		
	人件費(千円)	7,111	7,271	人件費(千円)	7,264		
	総事業費(千円)	215,174	273,749	総事業費(千円)	221,651		
	市民1人当りの経費(円)	1,220	1,552	市民1人当りの経費(円)	1,255		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 予算規模は、老人福祉センターの健全な維持管理のため、現状どおりの事業を実施する。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る。イベントや講座の実施など利用者ニーズを取り入れた施設運営に努めているが、利用者数は横ばいであるため、今後、多世代交流事業を実施していくなど、利用者数の増加に努める必要がある。

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	名越、教養、今泉及び玉縄の各センターは、築20年から築40年経過しており、老朽化が進み、各所に損傷が生じているが、限られた予算の中で対応せざるを得ず、老朽化対策の計画的な取り組みが課題である。また、利用者ニーズにあった施設運営をめざし、利用者増加に努める。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	突発的な修繕の早期対応や点検の結果に基づく修繕などにより、施設の長寿命化を図るとともに、計画的な修繕の実施に努めた。また、名越やすらぎセンターの耐震改修工事を行った。また、多世代交流事業の実施に向けたアンケートを行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	名越、教養、今泉及び玉縄の各センターは、築20年から築40年経過しており、老朽化が進み、各所に損傷が生じているが、限られた予算の中で対応せざるを得ず、老朽化対策の計画的な取り組みが課題である。また、次期は5館一括での指定管理を行っていくため、適切な運営ができるよう指定管理者を選定していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	高齢化率(平成31年1月1日現在)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	三浦市	藤沢市	平塚市		
他市実績	30.6%	31.1%	31.7%	37.0%	24.3%	27.3%		
比較事項	60歳以上人口(平成31年1月1日現在)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	三浦市	藤沢市	平塚市		
他市実績	62,685人	149,275人	22,041人	19,862人	125,930人	85,187人		
比較事項	老人福祉センター設置数(平成31年3月31日現在)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	三浦市	藤沢市	平塚市		
他市実績	5	6	1	1	3	4		
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市は高齢化率、60歳以上人口ともに神奈川県内でも上位のため、高齢者に生きがいやコミュニケーションの機会を提供し、健康寿命の延伸に資する老人福祉センターの整備、運営は有効な政策と思われる。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	老人福祉センター利用者数(延べ人数)	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
利用者数の推移の把握	目標値	150,000	140,000	140,000	150,000	150,000	150,000
	実績値	146,362	132,827	132,360	146,089	145,257	123,868
	達成率	97.6%	97.6%	94.5%	97.4%	96.8%	82.6%
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館したため、利用者数は減している。						
指標の内容	老人福祉センター利用者満足度(利用者アンケート回答者のうち「大変満足」や「満足」と回答した人の割合)	単位	%	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
管理運営内容に対する利用者への評価の把握	目標値	-	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	-	85.7	85.5	83.9	82.9	84.0
	達成率	-	97.6%	95.0%	93.2%	92.1%	93.3%
備考	腰越なごやかセンターが平成29年4月に開館したが、利用者数は横ばいであるが、利用者満足度は上がってきている傾向にある。次期からは5館一括での指定管理を行っていくため、利用者ニーズに応えられるよう取り組んでいかなければならない。						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							